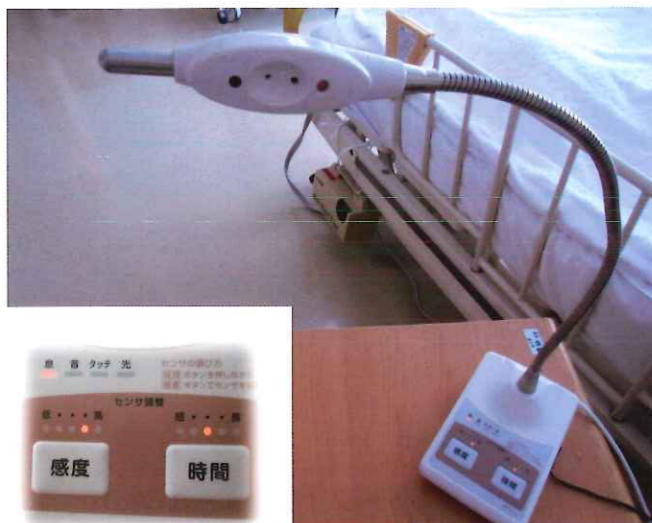




第61回 ブレスコール「呼吸式呼出しスイッチ」

ブレスコールとは、ボタン式のナースコールを押せない患者様のための呼吸式ナースコールです。ボタンを押すのではなく機械に「軽く息を吹きかける」「かすかな声を囁く」「軽く触れる」などで病院のナースコールシステムに連動するものです。当院は頸椎損傷などの疾患で両手が自由に利かない患者様も入院されます。その時はこのブレスコールを使用し、患者様の訴えやニーズに対応出来、安心して入院生活を送ってもらえるよう努めています。

一階病棟 師長 池野淳子



編集後記

この夏は、熱中症や大規模災害など自然の怖さを思い知ることが多くありました。

東日本大震災以降、災害への備えは随分と整備されて来ているとは思いますが、それでも被害をなくすことはできていません。ただ、意識という部分についてはだいぶ変化していると感じます。一昔前は、何か想定外のことが起きれば「安全神話の崩壊」などという安全であったからこそその言葉をよく聞きましたが、現在では安全神話という言葉は聞くことはなくなりました。それは、日本中どこにいても災害と隣り合わせだという感覚が定着してきたということなのでしょう。

最近では、発信される情報も充実してきています。例えば埼玉県のホームページでも現在の雨量や河川の水位やその画像が見ることができ、自宅周辺の状況を知ることもできます。県のホームページを見る機会は少ないかもしれませんが、意外にいろいろな情報が載っています。お出掛けに役立つような情報や、中には猫が庭に入らないようにする方法なんていうものもありました。

マメに覗いてみて、ついでに災害・防災についての情報もチェックしておくのも良いのではないのでしょうか。

(埼玉県のホームページ)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/>



ふれ愛

No. 91

発行 川島ロイヤル・ワム・タウン広報委員会

〒350-0123

埼玉県比企郡川島町大字畑中 478 番地 1

電話：049 (297) 2811 Fax：049 (297) 0535

ホームページアドレス <http://www.kl-wam.jp/>

平成30年10月1日

勝利魂に声がかれるほど応援



今年は特に暑い猛暑が続く8月でした。そんな中でアジア大会2018では日本選手の大活躍!!それに負けまいと、9月2日に「あじさい通りミニ運動会」を行いました。紅白に分かれ、ボール送り競争・玉入れ・そしてパン食い競争を行いました。最初は「運動会?俺はやらないよ。」と言われていた利用者様が、いざボール送り競争をスタートしてみると、無我夢中にボールを送り、早くゴールをすると一番喜んでいました。4名1組で行った、パン食い競争は、皆様、アンパン目がけて一直線!「食べていいの?」「あー楽しい!」と、様々な思いの、楽しいお声がたくさんありました。

最後の競技の玉入れは、皆様本当に勝ちにこだわり、籠に狙いを定め、玉を投げていました。私たち職員も声がかれるほど応援し、楽しさで一杯になりました。怪我もなく、安全で、美しく競い合うことができました。

今回の企画にて、普段見ることのできない利用者様の「勝利魂」を大いに垣間見ることができました。

(介護老人保健施設 平成の森 あじさい通り 宮下 健一)

平成の森・川島病院

Tel 049 (297) 2811

介護老人保健施設 平成の森

Tel 049 (297) 8808

訪問看護ステーション 平成の森

Tel 049 (297) 8331

居宅介護支援事業所 きずな

Tel 049 (297) 8797

川島町地域包括支援センター

Tel 049 (297) 8689

ロイヤルケアホーム川島 (サービス付き高齢者向け住宅)

Tel 049 (299) 0880

川島クリニック

Tel 049 (297) 8783

ふれあい看護体験7名の高校生参加

～「ありがとう」で看護のやりがいや楽しさを実感～

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲール誕生の5月12日を「看護の日」として、この日を中心に様々なイベントが行われています。その中で、介護老人保健施設 平成の森では、「ふれあい看護体験」として、高校生の一泊看護体験を実施しました。8月7、8日の2日間で7名の高校生の参加があり、体温や血圧測定、食事や排泄などの介助などを体験してもらいました。はじめは緊張した面持ちでしたが、利用者さんに声をかけられたり、利用者さんとレクリエーションを楽しむうち、緊張がほぐれ笑顔がみられていました。高校生からは、「より夢を現実的に考えることができました。」「些細なことでもありがとうと言われ、やりがいや楽しさを感じました。」など感想が聞かれました。私も人の役に立ちたいと看護師を目指して頑張っていた高校時代を思い出し、あの時頑張ったからこそ、今の私があると実感しました。この体験を通して看護師になりたい気持ちがより一層強くなり、頑張ろうという気持ちになってくれたら幸いです。夢に向かってファイト！

居酒屋「平成の森赤ちょうちん」開店

昨年大好評でした、「夏のカーニバルビアガーデン 平成の森 赤ちょうちん」今年も去る9月1日(土)行いました。総勢30名以上の利用者様が1階通所リハビリ広場に集まり、それぞれ思い思いの飲み物を持ち「乾杯」のかけ声と共に始まりました。会場中にタレが香る“焼き鳥”や“舟血に乗せられたたこ焼き”の肴。法被や浴衣を着た職員が振る舞いました。カラオケを楽しむ利用者様の歌を



BGMに、串を持ち焼き鳥を頬張って「おいしいね。おかわりある？」と普段の食事では見られない笑顔でおかわりをしました。一方で、少し頬を赤らめた利用者様。「梅酒一杯頂いちゃった、久しぶり最高よ。」とコップを片手にカラオケのリクエストもして下さいました。階の違う利用者様に久しぶりに会い、語り合う姿も見られました。職員も皆様と歌い笑いの宴会モードになりました。なによりも留学生が日本の文化である法被や浴衣姿が大変喜ばれ、利用者様から写真の催促をされていました。居酒屋「平成の森 赤ちょうちん」は、予定した時間をあっという間に過ぎ、大成功に終わりました。また次回も利用者様の笑顔が見られるよう、職員一同、頑張っていこうと思います。

(介護老人保健施設 平成の森
あじさい通り 宮下 健一)



敬老会、コーラスにソーラン節で祝福

長寿をお祝いする「敬老会」が去る9月8日(土)にリハビリ室にて開催されました。最高齢96才の患者様から90才までの18名の患者様が坂井院長よりお祝いの記念品を贈呈されました。ボランティアとして、コーラスグループ“ドリーム”をお招きし、総勢17名による合唱を開き、爽やかな歌声に耳を傾けていたり、一緒に口ずさんでみたり、普段、目をあまり開けない患者様も歌声につられて目を開けておられたりと、各々に楽しんでいらっしゃいました。また、リハビリスタッフによるダンス「ソーラン節」も披露され迫力ある踊りと若いパワーそしてかけ声に圧倒されていました。短い時間ではありましたが、盛大な拍手にて閉幕となりました。

(平成の森・川島病院 2F病棟 市川 知春)



夏祭りレクリエーション ～手作りの縁日で楽しむ～

立秋を過ぎてもまだまだ暑い8月中旬、リハビリ室の一角で恒例の夏祭りレクリエーションを実施し、今年も多くの患者様

にご参加頂きました。提灯やうちわでにぎやかに飾られた会場で、お祭りの半被を着て頂き、リハビリ職員の手作りの縁日(射的、くじ、金魚釣り、すいか割り)で楽しんで頂きました。皆さんの、慣れた手つきで射的の的を射る様子はお見事でした。今後も、リハビリ室では患者様に楽しんで頂けるよう季節ごとのレクリエーションを実施していきたいと思えます。

(平成の森川島病院 リハビリテーション科 広報委員 杉浦絵理)



インフルエンザ予防接種を受けましょう

毎年、冬の時期に流行するインフルエンザには予防接種が有効です。

インフルエンザ予防接種はインフルエンザにかからなくなるわけではありませんが、かかりにくくなる、またはかかっても軽い症状で済むというのが利点です。インフルエンザワクチンは、そのシーズンに流行することが予測されると判断されたウイルスを用いて製造されているため、昨年インフルエンザワクチンの接種を受けた方であっても、今年のインフルエンザワクチンの接種を検討して頂く方が良いと考えられます。平成の森・川島病院では高校生以上の接種をおこないます。川島クリニックでは小学生以上の接種をおこないます。65歳未満の方の予防接種は自費での接種になります。65歳以上の県内の高齢者は公費負担があり1,500円で接種が可能です。公費対象の接種期間は平成30年10月20日～平成31年1月31日(予定)です。



面会制限ご協力のお願い

入院中の患者様に流行感染症(インフルエンザやノロウイルスなど)を予防するために、高校生以下(18歳以下)の面会及びリハビリ見学の制限をさせていただきます。ご家族様のご理解・ご協力をお願い致します。

期間11月1日～3月31日

(感染委員会)